

奈良県・大和飛鳥地域



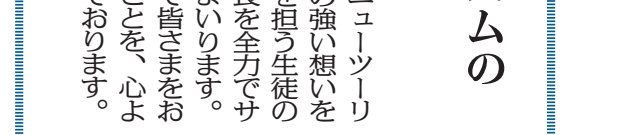
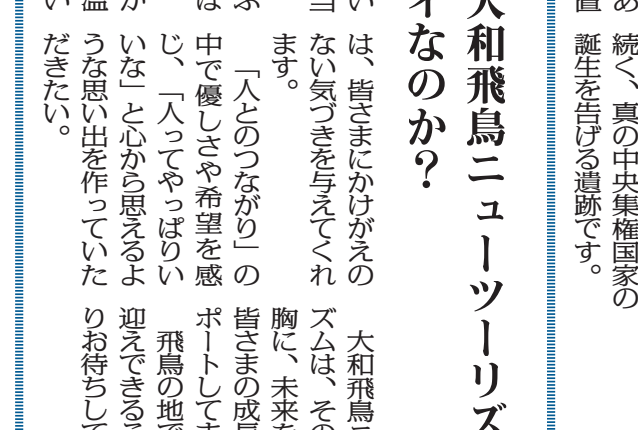
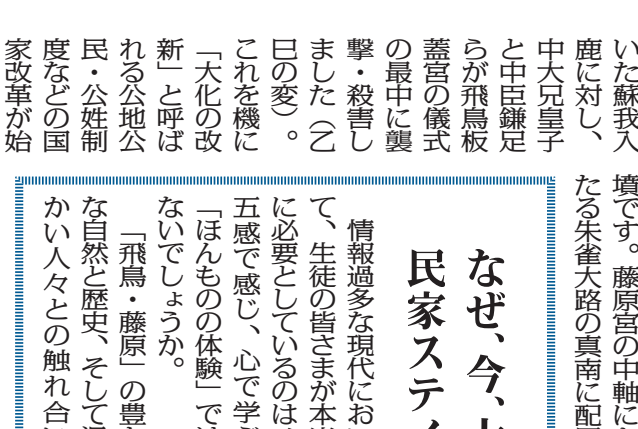
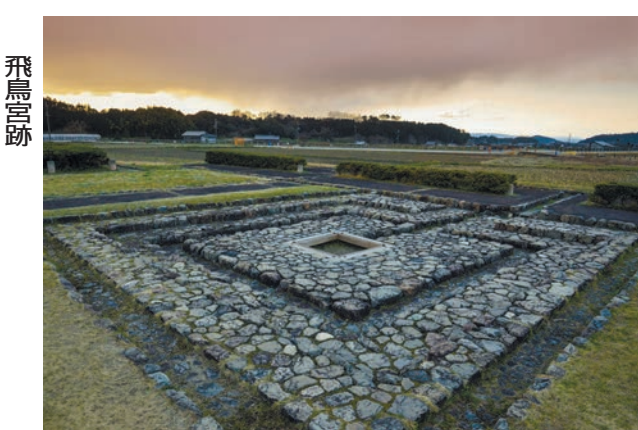
棚田が広がる明日香村の景観。右下の写真は、棚田からの夕景



民家ステイを通じて歴史に触れる



「飛鳥・藤原の宮都」は、石の基盤を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。



「飛鳥・藤原の宮都」の成立の背景

592年に推古天皇が飛鳥浄御原で即位してから、710年の平城京遷都にいたるまでの約100年間に、飛鳥時代と称される時代です。この時代には、遣隋使の派遣や憲法十七条の制定、大化の改新、さらには壬申の乱や大津律令の制定といった、国家の根幹を揺るがす重要な政治改革や政変が次々と起りました。これらの歴史的な歩みを通じて、現代に続く「日本」という国家の基盤が強く形成されていきました。

また、東アジア諸国との活発な交流により、中国大

的プロセスを今に伝える飛鳥・藤原の宮都は、世界的に見ても極めて高い価値を有する文化遺産です。そしてそれは、8世紀の平城京余り、東アジアの文化交流を客観視し、自国の歴史を世界基準の価値から再認識する

①東アジアの文化交流を客観視し、自国の歴史を世界基準の価値から再認識する

②「地下遺構」と実物史料の活用による高度な探究学習の展開

③「探求型学習」の実践

「飛鳥・藤原の宮都」は、石の基盤を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。

世界遺産エリアである奈良県明日香村、橿原市、桜井市には、数多くのホストファミリーが点在しております。当団体ではこれまで、国内3万1207人、海外2万2977人の生徒の皆さまに民家ステイを利用いただいております。令和9年度(2027年度)以降は、受け入れ定員を3000〜3200人規模へと拡大する計画も進めており、より多くの教育旅行ニーズにお応えできる体制への強化しております。

2026年7月26日には、明日香村、橿原市、桜井市にまたがる「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産に登録されました。「飛鳥・藤原の宮都」は、宮殿・官衙跡、仏教寺院跡、墳墓の3類型、全19の構成資産からなり、6世紀末から8世紀初頭にかけて、東アジアとの交流を通じて日本の中央集権国家が形成されていった過程を伝える文化遺産です。

私たちが目指すのは、単なる宿泊ではなく、地域の方々と深い交流を通じて、周囲のあらゆる人々やモノ・コトへの感謝の気持ち「を育む教育的な体験です。この民家ステイを主軸に、各種体験プログラムや日帰りの街歩き企画など、生徒の五感を刺激し学びを深める多彩なコンテンツをご用意しております。

日本のはじまりの地の自然と歴史、そして温かい人々に包まれて過ごす時間は、生徒の皆さまにとって一生の思い出に残るかけがえない体験となるはずです。

世界文化遺産「飛鳥・藤原の宮都」に学ぶ

石舞台古墳 橘寺

概要を紹介するだけでなく、この地に暮らす地域住民からこそ語れる「生活感あふれる視点で歴史を伝える」ことが、民家ステイの大きな意義です。民家ステイでは、蘇我馬子は、6世紀後半から7世紀初頭にかけて物部氏との抗争に勝ち、崇峻天皇・推古天皇を支えて政治の実権を握った豪族です。仏教を積極的に導入し、推古天皇の摂政として干渉した。この巨大大石舞台古墳は、当時の蘇我氏が天皇家を凌駕する権力を誇っていたことを示しています。

蘇我馬子は、6世紀後半から7世紀初頭にかけて物部氏との抗争に勝ち、崇峻天皇・推古天皇を支えて政治の実権を握った豪族です。仏教を積極的に導入し、推古天皇の摂政として干渉した。この巨大大石舞台古墳は、当時の蘇我氏が天皇家を凌駕する権力を誇っていたことを示しています。

「飛鳥・藤原の宮都」は、石の基盤を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。

「飛鳥・藤原の宮都」は、石の基盤を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。

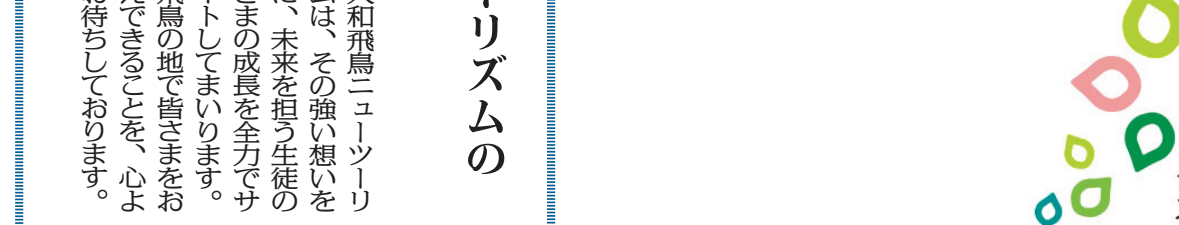
暮らしの中で触れる世界遺産 滞在中に深まる歴史の対話

「飛鳥・藤原の宮都」は、石の基盤を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。馬子階を制定し、遺跡の派手な景観を築きました。

なぜ、今、大和飛鳥ニューツーリズムの民家ステイなのか？

情報過多な現代において、生徒の皆さまが本当に必要としているのは、五感で感じ、心で学ぶ「ほんものの体験」ではないでしょうか。「飛鳥・藤原」の豊かな自然と歴史、そして温かい人々に触れ合える貴重な機会を提供いたします。

大和飛鳥ニューツーリズムは、皆さまにかけがえのない思い出を胸に、未来を担う生徒の皆さまの成長を全力でサポートしてまいります。飛鳥の地で皆さまをお迎えできることを、心よりお待ちしております。



一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム
〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地
TEL 0744-54-1525 FAX 0744-54-1526
E-mail: info@yamatoasuka.or.jp
URL: https://yamatoasuka.or.jp/